

管内の土壌分析について (一宮営業部管内)

10月の農作業

管内の土壌分析について (波賀営業部管内)

10月の農作業

一宮

分析試験項目 試料名	pH(H ₂ O) (pH)	電気伝導率 (EC) (mS/cm)	カルシウム (mg/100g)	苦土 (mg/100g)	カリ (mg/100g)	CEC (陽イオン交換容量) (meq/100g)	リン酸 (mg/100g)	腐植 (%)	
項目の説明	土壌酸度を表している。 pH ← 7.0 → 酸性 アルカリ性	土壌中の肥料の多さを示している。	細胞と細胞の中にあるその生成と強化に関係している。	リン酸吸収を助ける。	根の発育を促進させる。	保肥力を表し、数値が高いほど保肥力が高い。	作物の根や茎の生育を促進させる。	地力の維持に必要。	
目標値	6~6.5	0.2~0.4	200~250	25~35	20~30	12以上	10~30	3~5	
圃場名 (平均)	曲里	6.1	0.04	167.3	17.5	16.3	10.3	15.0	3.1
	嵯峨山	6.0	0.05	175.0	17.0	15.0	10.3	10.0	3.1
	中安積	6.2	0.04	180.0	16.3	16.7	10.3	36.7	3.1
	三林	5.9	0.05	150.0	11.5	14.3	9.5	28.5	3.8
	杉田	6.3	0.04	190.0	17.0	13.0	11.3	17.8	3.6
	西安積	5.9	0.04	138.0	11.6	16.4	10.2	10.4	3.9
	関賀	6.0	0.05	153.3	16.6	16.6	9.8	21.2	2.9
	東市場	6.3	0.06	288.8	30.0	16.7	15.5	20.0	7.4
	須行名	6.1	0.05	233.3	25.0	13.7	14.7	22.3	6.9
	伊和	6.3	0.06	300.0	32.4	19.8	17.8	12.6	9.7
	安黒	6.6	0.06	260.0	23.4	16.6	13.6	32.6	3.9
	嶋田	6.4	0.05	217.5	20.3	13.0	12.5	23.3	4.6
	下野田	6.6	0.07	222.0	24.0	18.6	11.8	26.2	4.3
	上野田	5.8	0.06	170.0	17.2	19.8	12.0	12.6	6.8
	能倉	6.0	0.05	168.0	18.6	15.0	11.4	19.6	3.8
	福田	6.2	0.06	192.5	19.8	16.1	12.8	33.0	2.6
	山田	6.1	0.06	190.0	20.2	11.0	10.8	15.6	3.9
中坪	5.9	0.05	157.8	19.4	21.6	11.4	12.0	3.6	
本谷	6.5	0.06	252.5	22.3	20.3	12.3	25.5	3.0	
傾向と対策	酸性が少し強いので、石灰を施用する。	基準値より少ないので施肥基準を守る。	基準値以下の箇所が多いので石灰を施用する。	基準値以下の箇所が多いので苦土重焼燐を施用する。	基準値を下回っているため、カリ肥料を施用する。	有機物の施用で保肥力が維持できるので堆肥やアツミンを施用する。	基準値内の箇所が多いですが苦土重焼燐を施用する。	地力は基準値以上ですが、地力維持のために有機物を施用する。	

みかた営業部管内の土壌分析につきましては、来月に掲載いたします。

裏面は管内の土壌分析について(波賀営業部管内)を掲載しています。

農作業のページは取りはずして別に保存し活用してください。

No.258 平成24年10月17日発行

波賀

分析試験項目 試料名	pH(H ₂ O) (pH)	電気伝導率 (EC) (mS/cm)	カルシウム (mg/100g)	苦土 (mg/100g)	カリ (mg/100g)	CEC (陽イオン交換容量) (meq/100g)	リン酸 (mg/100g)	腐植 (%)	
項目の説明	土壌酸度を表している。 pH ← 7.0 → 酸性 アルカリ性	土壌中の肥料の多さを示している。	細胞と細胞の中にあるその生成と強化に関係している。	リン酸吸収を助ける。	根の発育を促進させる。	保肥力を表し、数値が高いほど保肥力が高い。	作物の根や茎の生育を促進させる。	地力の維持に必要。	
目標値	6~6.5	0.2~0.4	200~250	25~35	20~30	12以上	10~30	3~5	
圃場名 (平均)	日見谷	6.1	0.04	143.3	16.6	17.5	11.3	19.0	4.8
	谷	5.8	0.05	146.0	12.3	13.2	10.4	15.4	3.6
	小野	5.8	0.04	108.0	10.9	15.8	8.8	13.0	3.6
	今市	5.9	0.05	180.0	15.7	14.0	12.3	15.3	5.8
	安賀	5.6	0.05	140.0	12.3	15.0	11.3	17.0	7.9
	斉木1	5.6	0.04	144.2	11.5	9.7	11.0	10.8	5.4
	斉木2	5.8	0.04	155.0	15.2	14.0	11.5	12.8	4.2
	斉木3	5.9	0.05	186.0	15.6	13.2	12.2	20.0	4.6
	有賀	6.1	0.04	171.8	16.8	11.9	10.3	9.3	5.7
	上野	5.6	0.05	135.4	12.2	13.5	11.2	13.4	5.8
	水谷	5.8	0.05	150.0	14.3	7.9	10.7	14.7	3.7
	皆木	5.9	0.04	176.0	18.2	10.7	12.2	14.4	5.1
	飯見	5.6	0.04	131.5	11.1	12.5	11.8	8.3	4.7
	野尻	6.0	0.04	177.5	13.3	15.5	12.8	20.3	6.0
	原有賀	5.7	0.06	172.5	14.0	10.8	14.5	16.8	9.7
	原	5.8	0.09	205.0	23.6	16.9	14.5	25.8	5.3
	日の原	5.9	0.05	210.0	23.0	7.0	13.0	12.0	3.7
鹿伏	6.3	0.12	360.0	24.7	34.3	18.7	46.0	8.5	
戸倉	6.9	0.10	480.0	27.5	14.5	20.0	59.0	5.7	
道谷	5.8	0.13	257.5	34.3	38.5	19.0	33.5	7.4	
傾向と対策	酸性が少し強いので、石灰を施用する。	基準値より少ないので施肥基準を守る。	基準値以下の箇所が多いので石灰を施用する。	基準値以下の箇所が多いので苦土重焼燐を施用する。	基準値を下回っているため、カリ肥料を施用する。	有機物の施用で保肥力が維持できるので堆肥やアツミンを施用する。	基準値内の箇所が多いですが苦土重焼燐を施用する。	地力は基準値以上ですが、地力維持のために有機物を施用する。	

ちくさ営業部管内の土壌分析につきましては、来月に掲載いたします。

裏面は管内の土壌分析について(一宮営業部管内)を掲載しています。

農作業のページは取りはずして別に保存し活用してください。

No.258 平成24年10月17日発行